

合同会社さつま自然エネルギー（いちき串木野市）は28日、同市内で展開する「薩州自然エネルギー工業団地事業」の太陽光発電事業の運用資金に充てるファンドを募集すると発表した。1口30万円で出資を募る。募集総額は1億5千万円。目標分配利回りは2

太陽光発電へ ファンド募集

%を予定する。ファンド名は「環境維新ファンド さつま自然エネルギー」。募集区分は、分配を現金で受け取れるものと同市の特産品に換えられるものが、各500口ある。募集期間は2013年3月29日までで先着順。

さつま自然エネルギー

契約期間は締結日から23年3月31日までで、発電に売却し、収入を得ては14年度から、出資者に対する。対象にした観光ツアーなど。同社の代表社員パスポートの濱田総一郎社長は「人口3万人の街で、持続可能なまちづくりを市民運動的に盛り上げていきたい」と話した。同社0996(24) 5511。屋根に太陽光発電設備を

市民ファンド募集開始

いちき串木野
メガソーラー 出資者に焼酎分配も

鹿児島県いちき串木野市で官民一体でのメガソーラー（出力千瓩以上の大規模太陽光発電所）設置に取り組む「合同会社さつま自然エネルギー」（濱田総一郎代表）は28日、一般から出資を募る

「市民ファンド」の募集を始めた。出資金を発電事業に投資し、売電で得た運用益を分配。出資者は現金分配か焼酎やまぐろラーメンなど地元特産品の現物支給のいずれかを選べる。

会社は同市の濱田酒造や関連会社バスポート（川崎市）が主導し、市や地場企業が出資して設立。市の西薩中核工業団地（60・8㌔）の工場屋根などに太陽光発電設備を設置し、一般家庭約千世帯分の総出力3400㌔を九州電力に売電する計画。既に施設は一部稼働している。

ファンドは1口30万円で誰でも購入できる。募集期間は来年3月29日までだが契約総額が1億5千万円に達するか、出資者が延べ499人に達した時点で締め切る。目標利回りは年2%で、20

14年から分配を開始する。23年には元本を償還する計画。問い合わせはバスポート九州営業所0996(24) 5511（上野和重）